



ご挨拶

会長 内山 和美
(E49)

（はじめに）
一般社団法人下松工業会の会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に対してもご理解、ご協力を頂き、感謝申し上げます。今年で会長2年目になります昭和49年電気科卒の内山和美です。よろしくお願い致します。

（主な活動内容）
一般社団法人下松工業会の活動目標の一つは、会員相互の交流を図ることです。総会をはじめ、企業支部や地域支部活動、OGによるさくらクラブ、ボウリング大会、ゴルフ大会などで親睦を深めて頂いています。

二つ目は母校への支援です。生徒への奨学金や文化体育活動支援助成金の交付、母校の庭木の剪定、就職試験直前に実施する面談指導、下工祭では昨年から始めましたさくらクラブによるお茶席などがあります。

また、各種行事や企業・地域支部活動を掲載しました会報も発行しています。

（定期総会、講演会、懇親会）
5月13日（土）、きらぼし館にて定期総会を開催しました。

国井市長、大田校長をはじめ多くの来賓を含めた総勢78名の参加の元、総会終了後に昭和41年電気科卒の田中一成先生の記念講演会が催されました。あり、大いに盛り上がり和やかな会となりました。

（一般社団法人への移行の経緯）
現在の一般社団法人下松工業会の前身は昭和2年下松在住の卒業生が中心となり「同窓会下松工業会」を設立し、昭和25年に名称を「下松工業会」へ改称しました。

昭和42年の定期総会で下松工業会館を建設することを決定し、昭和46年に完成しました。その間、

下松工業会報

一般社団法人 下松工業会
〒744-0012 下松市北斗町12番4号
事務局 下松工業同窓会館
TEL (0833) 43-1336
FAX (0833) 41-7448
URL: <http://www.kudakokai.org>
E-mail: kogyokai@triton.ocn.ne.jp



ご挨拶

山口県立下松工業高等学校
校長 大田 真一

一大義と現実の狭間

爽やかな初夏を迎え、木々の緑も日増しに深まっています。このたび下松工業会報第54号が発刊されることを心からお祝い申し上げます。

一般社団法人下松工業会の皆様には、平素から本校教育の振興に物心両面でご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。昨年度も、会長の内山和美様をはじめとする下松工業会の皆様には奨学金の交付や全国大会出場部への激励金、就職面接指可が承認されました。

平成20年には、新しい公益法人制度として「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」が施行されました。全ての公益法人が公益目的事業を主な事業とすることになり、寄附優遇税制の対象となりました。これを受け、平成24年に「社団法人下松工業会」は「一般社団法人下松工業会」に移行して現在に至っています。

こうしたなか、下松工業会館の1階に継続していたテナントが平成28年に撤退し、建屋の老朽化や耐震強度の問題などがあり新たなテナントの入居が難しい状況となりました。令和2年には下松工業会館の売却を総会で提案し承認されました。売却後は3階の会議室を賃貸契約して事務局運営を継続しています。



《元乃隅稻荷神社》



《日本海と棚田》

前述したように、収益事業を開始することに伴い法人化した下松工業会は、収益事業が無いにも関わらず一般社団法人を維持していくと、一般社団法人であるが故の経費（法人税や会計監査費など）の垂れ流しとなり、会員数の減少に伴う会費収入減と相まって、あと4年で財政破綻となる見通しです。

この状況を打開すべく、理事会ならびに組織委員会で議論した結果、一般社団法人としての下松工業会を解散し、新たに任意団体として下松工業高校同窓会（仮称）を設立して、事業承継していくとともに、収入に見合った事業への見直しなど、母校とも連携しながら早急に検討を重ねています。

冒頭でも説明しましたが、私どもの使命は、「同窓会員相互の交流を深める活動」と共に、「母校における生徒の資質向上及び教育の振興に向けた支援」することで下松工業高校の充実発展に寄与する活動を継続することです。今後も下松工業会員の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ることで土地から災いを追い払い、豊作を祈願するという意味合いであります。日本人にとって稻作は特別なもので、古来より伝承されていいる儀式・祭り・芸能の歴史や由来を紐ほどいてみると、稻作と深い関わりがあるのがあります。日本はやはり稻作文化国なのだということをつくづく感じさせられます。

私は農家に生まれ、物心がついた時には、田植えや除草、稻刈り、脱穀の手伝いをさせられてきました。稻は無い水を溜め、肥料も十分に与えます。茎や葉を伸ばして自立できるようになります。保護する必要があるからです。しかし、ある時期になると、水田から水が消え、田んぼの土は硬くヒビ割れる時が来ます。農家が意図的に水を枯渇させ、稻の生育にとつて厳しい環境をつくるためです。稻は無い水を求めて見えない地中で模索し、根を張り巡らします。農家は水の枯渇が来るべき実りの時期に倒れたり折れたりしない丈夫な土台作りに繋がるのを経験的に学んでいます。これが、水を与え続けてしまふと、稻は根を張る必要がないため、自らの重さにも耐えることができないくらい弱く倒れやすいものになってしまいます。

このことは、農業と教育、一見異なることに思えますが、普遍的に通ずる部分があるように感じます。欲しい物や、やりたいことを簡単に与えられやすいものになってしまいます。農家が長い間、農業で活躍することを願うとともに、在校生に対しても充実した指導を行つてまいります。

話題は変わりますが、「新型コロナウイルス感染症」が流行する前のことです。正月に妻の実家の北浦を訪れ、家族で三社参りを行いました。その内の一、湯谷にある「元乃隅稻成神社」を参った帰り、「龍宮の潮吹き」や「千畳敷」と合わせて「日本の棚田百選」という看板が目に入つたので訪れてみました。季節柄、棚田には稻はおろか水も張つていらない状態でしたが、日本海と山陰の山々とが棚田と調和し、どこか懐かしく落ち着いた気持ちにさせられた風景でした。

一方、ようやく全国各地で復活され始めた夏祭り・秋祭り等のお祭りの多くは、田の神に向けての豊作祈願または収穫感謝のために行われてきました。また、先日、市内の花岡八幡宮を訪ねた時、境内奥の広いスペースに土俵が設置されました。コロナ感染症感染拡大防除のため中止していた子ども相撲大会（明治以来100年以上続く伝統行事）が今年から復活したそうです。日本人に愛される相撲の所作である「四股（しご）」には元々、大地を力強く踏みしめ

ることで土地から災いを追い払い、豊作を祈願するという意味合いであります。日本人にとって稻作は特別なもので、古来より伝承されていいる儀式・祭り・芸能の歴史や由来を紐ほどいてみると、稻作と深い関わりがあるのがあります。日本はやはり稻作文化国なのだということをつくづく感じさせられます。

私は農家に生まれ、物心がついた時には、田植えや除草、稻刈り、脱穀の手伝いをさせられてきました。稻は無い水を溜め、肥料も十分に与えます。茎や葉を伸ばして自立できるようになります。保護する必要があるからです。しかし、ある時期になると、水田から水が消え、田んぼの土は硬くヒビ割れる時が来ます。農家が意図的に水を枯渇させ、稻の生育にとつて厳しい環境をつくるためです。稻は無い水を求めて見えない地中で模索し、根を張り巡らします。農家は水の枯渇が来るべき実りの時期に倒れたり折れたりしない丈夫な土台作りに繋がるのを経験的に学んでいます。これが、水を与え続けてしまふと、稻は根を張る必要がないため、自らの重さにも耐えることができないくらい弱く倒れやすいものになってしまいます。

このことは、農業と教育、一見異なることに思えますが、普遍的に通ずる部分があるように感じます。欲しい物や、やりたいことを簡単に与えられやすいものになってしまいます。農家が長い間、農業で活躍することを願うとともに、在校生に対して充実した指導を行つてまいります。

話題は変わりますが、「新型コロナウイルス感染症」が流行する前のことです。正月に妻の実家の北浦を訪れ、家族で三社参りを行いました。その内の一、湯谷にある「元乃隅稻成神社」を参った帰り、「龍宮の潮吹き」や「千畳敷」と合わせて「日本の棚田百選」という看板が目に入つたので訪れてみました。季節柄、棚田には稻はおろか水も張つていらない状態でしたが、日本海と山陰の山々とが棚田と調和し、どこか懐かしく落ち着いた気持ちにさせられた風景でした。

一方、ようやく全国各地で復活され始めた夏祭り・秋祭り等のお祭りの多くは、田の神に向けての豊作祈願または収穫感謝のために行われてきました。また、先日、市内の花岡八幡宮を訪ねた時、境内奥の広いスペースに土俵が設置されました。コロナ感染症感染拡大防除のため中止していた子ども相撲大会（明治以来100年以上続く伝統行事）が今年から復活したそうです。日本人に愛される相撲の所作である「四股（しご）」には元々、大地を力強く踏みしめ

令和5年度定期総会報告書

【定期総会】

- 開催の日時及び会場 令和5年5月13日(土) 10時40分~11時55分
会場 下松市駅南市民交流センター きらぼし館
- 会員の現在数 1,863人
議決会員数 1,230人
うち出席者 65人
書面議決者 1,165人
- 議 事
 - 1号議案 令和4年度事業報告
 - 2号議案 令和4年度決算報告並びに監査報告
 - 3号議案 令和5年度事業計画(案)
 - 4号議案 令和5年度予算(案)
- 総会の経過
 - 議長は定款16条に従い出席全員の中から東洋鋼鉄支部宮田健一氏(機械科 昭和63年卒)が選出された。
 - 議事録署名人並びに書記指名
宮田議長は定款21条により下記の者を指名した。
議事録署名人は定款21条に従い議長と出席理事の記名押印となります。
書記 化学工業科 平成9年卒 権木 隆裕氏
 - 議事の経過の概要
 - 1号議案と2号議案は関連するので一括して提案、東耕太郎監事から監査結果を報告し、異議無く原案通り満場一致をもって承認された。
 - 3号議案を提案 満場一致をもって原案通り承認された。
 - 4号議案を提案 満場一致をもって原案通り承認された。

【記念講演】

講師の田中一成先生は、昭和41年に電気科を卒業後、金指造船所から清水市(現静岡市)議会議員に立候補され5期20年務められました。

現在は作家、ジャーナリストとしてご活躍されています。

「下工は虹の懸け橋(下工精神はわが人生そのもの)」と題しての講演は、人生のターニングポイントにおける行動や考え方の根幹となっているのは、下松工業在学中の体験や母校校はの「愛と正義」が大きく関わっていると感じました。

作家として初版となる坂本龍馬を題材にした「坂本龍馬と幕末維新」を出版するに当たっては、出版元による原稿の添削等によって自分の信念が修正されないようにと自費出版としたことや、夏の甲子園出場をかけた県予選には毎年静岡から車を運転(12時間)して、母校野球部の応援に駆けつけていること。昨年はすべての試合に駆けつけ応援したとの話に田中先生の母校愛を感じました。懇親会にも積極的にご参加。旧交を温めながら感激の一時をお過ごし頂きました。



講師 田中一成先生



記念講演

科 目	当年度	前年度	増 減
委託費	574,405	619,540	△45,135
雑費	4,600	2,510	2,090
経常費用計	5,896,022	17,057,187	△11,161,165
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,095,406	△5,755,222	3,659,816
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,095,406	△5,755,222	3,659,816
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,095,406	△5,755,222	3,659,816
一般正味財産期首残高	21,347,013	27,102,235	△5,755,222
一般正味財産期末残高	19,251,607	21,347,013	△2,095,406
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	19,251,607	21,347,013	△2,095,406

科 目	当年度	前年度	増 減
預り金	4,593	4,593	
流動負債合計	4,593	4,593	0
負債合計	4,593	4,593	0
III 正味財産の部			
一般正味財産	19,251,607	21,347,013	△2,095,406
正味財産合計	19,251,607	21,347,013	△2,095,406
負債及び正味財産合計	19,256,200	21,351,606	△2,095,406

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
受取入会金	740,000	785,000	△45,000
受取入会金	740,000	785,000	△45,000
受取会費	1,590,000	1,788,000	△198,000
正会員受取会費	1,002,000	1,269,000	△267,000
特別会員受取会費	588,000	519,000	69,000
事業収益	1,367,396	1,417,808	△50,412
交流会会費	426,828	382,500	44,328
会館使用料収益	99,750	146,300	△46,550
その他の収益	840,818	889,008	△48,190
受取寄付金	103,040	7,303,070	△7,200,030
受取寄付金	103,040	7,303,070	△7,200,030
雑収益	180	8,087	△7,907
受取利息	180	8,084	△7,907
経常収益計	3,800,616	11,301,965	△7,501,379
経常費用			
事業費	2,727,372	13,971,181	△11,243,809
給料手当	397,421	445,845	△48,424
旅費交通費		80,000	△80,000
通信運搬費	441,840	1,546,547	△1,104,707
消耗品費	127,756	286,221	△158,465
交際費	421,786	363,057	58,729
光熱水料費	110,844	120,012	△9,168
賃借料		192,160	△192,160
租税公課	71,023	72,232	△1,209
寄附金	143,000	8,688,531	△8,545,531
記念品費		482,892	△482,892
文化体育活動事業助成金	150,000	100,000	50,000
育英奨学金	480,000	540,000	△60,000
委託金	382,932	1,052,694	△669,762
雑費	770	990	△220
管理費	3,168,650	3,086,000	82,644
給料手当	419,887	388,257	31,630
福利厚生費	41,484		41,484
通信運搬費	651,662	611,709	39,953
減価償却費	175,549	390,030	△214,481
交際費	202,899	12,700	190,199
消耗品費	141,638	131,069	10,569
新聞図書費	27,810	23,706	4,104
光熱水料費	166,275	146,683	19,592
賃借料	677,840	678,690	△850
保険料	2,000		2,000
記念品費	71,000	69,750	1,250
租税公課	11,601	11,362	239

監査報告書

令和5年4月11日

一般社団法人 下松工業会
会長 内山和美 様

監事 清水和夫
監事 徳原英昭
監事 東耕太郎

私たち監事は、法令及び定款の定めに基づき、一般社団法人下松工業会(以下、下松工業会という)の令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)監査を実施したので、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容
私たち監事は、理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し理事等からその職務の執行状況について報告を受け、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方針によって、当該年度に係る事業報告及び財産の状況を調査しました。

また、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその付属明細書について監査しました。

さらに、公益目的支出計画実施報告を受領し、これに関する資料の調査を行い当該年度における公益目的支出計画について監査しました。

2. 監査の結果

(1)事業報告等の監査結果
①事業報告及びその付属明細は、法令及び定款に従い、下松工業会の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその付属明細書の監査結果
計算書類及びその付属明細書は下松工業会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3)公益目的支出計画実施報告書の監査結果
公益目的支出計画実施報告書は法令及び定款に従い、下松工業会の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

2号議案 令和4年度決算報告並びに監査報告

貸借対照表 令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
流動資産			
現金預金	19,044,319	20,964,176	△1,919,857
西京普通	826,271	2,064,773	△1,238,502
西京普通特別会計	1,453,843	2,126,794	△672,951
西京普通100周年	1,264,205	1,272,609	△8,404
定期預金	15,500,000	15,500,000	
流動資産合計	19,044,319	20,964,176	△1,919,857
固定資産			
その他固定資産			
什器備品	211,881	353,135	△141,254
一括償却資産			
その他固定資産合計	211,881	387,430	△175,549
固定資産合計	211,881	387,430	△175,549
資産合計	19,256,200	21,351,606	△2,095,406
II 負債の部			
流動負債			

科 目	当年度	前年度	増 減
通信運搬費	300,000	300,000	0
光熱水料費	110,000	110,000	0
消耗品費	150,000	150,000	0
租税公課	71,000	71,000	0
文化体育活動事業助成金	250,000	250,000	0
育英奨学金	540,000	540,000	0
委託料	350,000	400,000	△50,000
行事費	450,000	550,000	△100,000
100周年記念事業	0	0	
管理費支出	3,785,750	3,884,650	△98,900
給料手当	500,000	510,000	△10,000
交際費	500,000	550,000	△50,000
保険料	5,750	4,750	1,000
旅費交通費	150,000	150,000	0
通信運搬費	800,000	770,000	30,000
光熱水料費	181,000	170,000	11,000
消耗品費	200,000	200,000	0
賃借料	675,000	660,000	15,000
記念品料	70,000	70,000	0
委託料	550,000	600,000	△50,000
租税公課	29,000	47,500	△18,500
会議費	100,000	150,000	△50,000
雑費	25,000	2,400	22,600
事業活動支出計	6,406,750	6,655,650	△248,900
事業活動収支差額	△3,206,650	△3,104,650	△102,000
II 投資活動収支の部	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△3,206,650	△3,104,650	△102,000
前期繰越収支差額	19,044,319	20,964,176	
次期繰越収支差額	15,837,669	17,859,536	

- 奉仕による支援（庭木剪定 11月）
- 卒業生による講演会の実施
- 3年生への面接指導の実施
- 6 運営方針
 - 一般社団法人下松工業会から下松工業同窓会（仮称）への移行準備
 - 有効な事業仕分けと運営方法検討
 - 司法書士への外部委託検討
- 7 藤中秀幸税理士事務所との会計処理業務の定着
- 8 地域行事等への参加
 - 北斗町行事参加（5月）

4号議案 令和5年度予算（案）

収支予算書
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動収支の部			
(1)事業活動収入			
事業収益	850,000	1,050,000	△200,000
交流会会費	450,000	550,000	△100,000
その他の収益	400,000	500,000	△100,000
会費収入	1,600,000	1,700,000	△100,000
受取年会費	1,000,000	1,200,000	△200,000
受取特別会費	600,000	500,000	100,000
入会金収入	750,000	800,000	△50,000
受取入会金	750,000	800,000	△50,000
雑収益	100	1,000	△900
受取利息	100	1,000	△900
雑収益	0	0	0
経常収益計	3,200,100	3,551,000	△350,900
(2)事業活動支出			
事業費支出	2,621,000	2,771,000	△150,000
給料手当	400,000	400,000	0

3号議案 令和5年度事業計画（案）

新型コロナウイルス感染症の対策を講じた上で積極的に各事業を実施する方向で検討する

- 定時総会の開催（5月13日（土）きらぼし館）
- 組織の充実と強化
 - 地域・企業懇談会（旧支部）の充実を図る。
 - 活動停滞懇談会への支援
 - 懇談会間の交流の促進を図る。
 - 懇談会代表者会議と交流会を実施する。（12月）
 - 母校新任職員と懇談会との交流会
 - さくらクラブ（女子会）を育成し、より充実を図る。（下工祭でのお茶席継続）
- 学年幹事会の開催（学年幹事の有効活用検討）
- 在校生への意識付け
 - 在校生への会報の配布（1回／年）
 - 体育大会、文化祭へ参加する。
 - 先生方や、PTAとの交流を図る。
 - 同窓会入会式及び新学年幹事との懇談会を行う（2月）
- 広報活動の推進
 - 会報54号の発行（年1回の発行）
 - ホームページの充実とタイムリーな更新
- 文化、レクリエーション活動の推進
 - 講演会の実施（5月13日 きらぼし館）
演題 「下工は虹の懸け橋」
“下工精神は我が人生そのもの”
田中一成 先生（E41）
 - 七彩会ゴルフ大会（10/11(木) 中須ゴルフ倶楽部）
 - 親睦ボウリング大会（8月ぐだまつスポーツセンター）
- 母校生徒支援事業
 - 母校の先生、PTA含む
- 育英奨学金事業（9名）
- 文化体育活動支援事業助成金の交付（随時）

定時総会・懇親会



OG を交えた母校吹奏楽部の演奏



定時総会受付のみなさん



会長挨拶



懇親会



懇親会

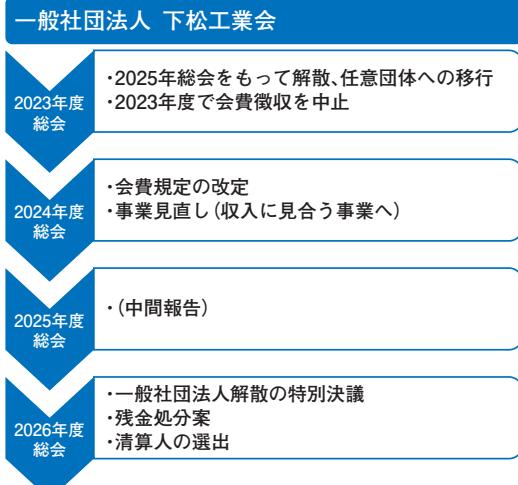


懇親会

トピックス

一般社団法人の返上と任意団体としての同窓会組織の立上げについて

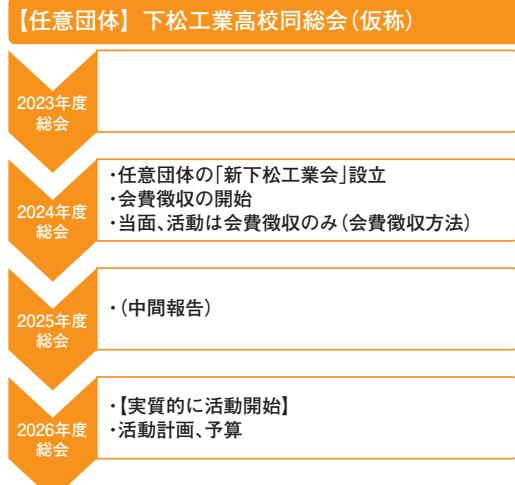
具体的な移行イメージ



※総会後（解散日後）2週間以内に、清算人が法務局へ解散及び清算人選任の登記申請
（概ね3か月）

※清算終了の登記申請

制度が複雑でわかりにくい面もあることから、本総会以降、会員への説明と問題点・疑問点の集約に努め、円滑に移行していくよう万全を期していく。



【補足説明】

- 自主的に一般社団法人を解散させたい場合は「社員総会の特別決議」により、解散することになる。（社員総会の特別決議とは？一般社団法人の重要事項を決定する「社員総会」は、構成員である社員が一同に集まって決議を行う。特別決議は、「総社員数の半数以上（頭数）」であって、「総社員の議決権の3分の2以上の賛成」が必要）
- 一般社団法人の解散・清算手続きの流れは次の通り。
 - STEP 1 社員総会の決議（解散・清算人の選任）
 - STEP 2 主たる事務所を管轄する法務局へ解散及び清算人選任の登記
 - STEP 3 財産目録・貸借対照表の作成
 - STEP 4 債権者保護手続き（2ヶ月以上の期間）
 - STEP 5 税務署等へ解散の届出・解散確定申告
 - STEP 6 清算手続き終了（残余財産の確定）
 - STEP 7 社員総会の決議（決算報告書の承認）
 - STEP 8 主たる事務所を管轄する法務局へ清算結了の登記
 - STEP 9 税務署等へ清算結了の届出・清算確定申告
- STEP 4 債権者保護手続きの期間は2ヶ月以上を要するので、STEP 8 清算結了の登記までの一連の手続きには、最低でも2ヶ月半以上かかるということになる。

※STEP 4 債権者保護手続きの期間は2ヶ月以上を要するので、STEP 8 清算結了の登記までの一連の手続きには、最低でも2ヶ月半以上かかるということになる。

育英奨学金の御礼

拝啓 早春の候 貴会におかれましては、ます
ますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。
さて、三年間、下松工業会育英奨学金の御支援
をいただき、誠にありがとうございました。御下
賜いたきました奨学金は、学業や通学の費用に
充てさせていただきました。おかげさまで、三年
間、勉学や部活動に十分励むことができ、有意義
な学校生活を送らせていただきました。

卒業後は一人前の社会人として世の中に貢献す
ることが、このご恩に報いることと肝に銘じて、
日々努力を重ねてまいります。

末筆ながら、貴会の益々のご発展をお祈り申し上
げますとともに、略儀ながら書中にてお礼申し上
げます。

中原道雄 幹事 M43



機械科43卒中原道雄と申します。新幹

機械科43卒中原道雄と申します。新幹事を仰せつかりました。東京勤務の傍ら某同窓会の事務局業務を長く続けておりました。印刷関連の営業・制作経験を生かし、少しでもお役に立てばと考えております。皆様にはご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

今年の4月から入社し、2ヶ月が過ぎました。少しづつですが社会人としての生活や仕事に慣れました。この2ヶ月は長いようで短い期間であり、最初は新しい環境で上手くやつていけるのかと不安がたくさんありました。

2ヶ月という短い期間ですが、研修や仕事をする中で色々感じたことや気づいたことがあります。その中でも3つのことが特に大切と思いまし

社会人になつて思うこと
令和5年卒業生

令和5年卒業生

情報電子科 佐藤 真萬

とだと改めて実感しました。

二つ目は、「報告・連絡・相談」です。「報連相」は仕事をする上で常に意識してやる必要があります。仕事の結果や方が一トラブルが起きた際には上司に速やかに報告することが大切です。他にもミスや分からぬことがあつた場合でも連絡や相談をすることで早めに対処ができます。「報連相」をすることでチーム内での情報共有ができます。

仕事の効率化に繋がります。

三つ目はメモを取ることです。最初は分からぬことばかりなので先輩や上司から教えて頂いたことをメモすることが大切です。ですがメモしただけでは覚える前に忘れてします。振り返り確認することで記憶に定着させていくことが次に大切であります。

これからも仕事をする上で学んでいくことはたくさんあると思います。まずは色々なことに挑戦をし、出来る仕事を一つでも増やしていけるよう努力していきます。

力することが必要になつてきます。高校生までの常識は通用しないので、社会人としての常識を身につけ、状況に応じた「意識」をし、対応することが大切だと感じました。

次に「実行力」です。行動力は必要ですが、ただそれだけでは足りず、目標に対する行動に計画性をもつて実行することの大切さを知りました。工場で働く人は安全第一です。始める前に危険予知をした上で行動することがとても重要です。やるべきことを事前に確認し、それに向けて行動することが大切だと感じました。この気づきを今後も意識し実行していきたいと思います。

私は上司の方から「知らない事」が武器だ」という言葉をもらいました。薬の事など何一つ分かつていかない私に「新人だからこそ思う会社の改善点やフレッシュな回答はこれから会社がより良くなる上で必要なんだよ。」と言われて、この言葉は私にとってとても励みになっています。今、私がやっている事は何もかもが新しく、はじめの一歩にすぎませんが「できない」ことを「できる」へ変えて日々成長していきたいと思います。

今年の四月に入社してから約二ヶ月が経ちました。初めのころは、早く慣れなければならぬと焦る気持ちもありいつも緊張していましたが、丁寧な指導や何気ない会話のおかげで職場の雰囲気社会人としての生活に慣れてきました。研修中のは今は仕事をするというよりも教わること、学ぶことばかりで毎日が勉強の連続です。

この短い期間で自分が社会人になつて感じたことは、「一日の早さ」「報告、連絡、相談の大切さ」「コミュニケーション能力」「小さなことでもメモを取ることの必要性」でした。その中でもコミュニケーションをとるのに苦労しました。自分から話しかけることで友交を深めることができました。

また、上司の方と話す際、正しい敬語を使うこと、挨拶やお礼を言うことは大切だと学びました。下松工業で学んだことは社会人になつてから非常に役に立つと思いました。

これから学ぶことはたくさんあり、また学んだことをしつかり活かせるようにならなければなりません。毎日が自分自身の事で精一杯の日々ですが、成長を感じる毎日でもあります。これからも人として社会人として日々成長して行けるよう精一杯頑張りたいと思います。

全日制から

母校だより

一般社団法人下松工業会の皆様には、平素より、本校教育の発展に多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

令和4年度末の人事異動により、14名の教職員が転退職し、新たに17名の方が転入いたしました。4月10日には131名の新入生を迎える、今年度も全校生徒、教職員一同新たな気持ちでスタートすることができました。

令和2年度の新型コロナウイルス感染症の爆発的感染拡大により、私たちの生活様式は大きく変わりました。この3年間、様々な活動に制限がなされ、多くの方々にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。しかし、今年度5月8日に感染症法上の位置付けが変更され、私たちはコロナ前の日常を取り戻しつつあります。学校においても、しっかりと感染症対策を講じた上で、技能の確実な習得、資格取得を含む学習指導、活気ある部活動や多様なボランティア活動、豊かな人間力の向上を目指した生徒指導、充実かつ安定した実績を継続する進路指導を推進し、地域に根ざし愛される学校として取り組んでまいります。

それでは、学校の昨年度の実績等について報告させていただきます。

まず、今春卒業した生徒の就職状況についてですが、求人数は740人、求人倍率は5・4倍（サービス業を含めると6・3倍）でした。コロナ禍ではありました、求人倍率は前年度を上回り、雇用情勢は好調でした。就職者数は全体の80・3%、そのうち86・8%の生徒が県内の企業に就職しました。このことは、諸先輩方のご活躍とご努力のお陰によるものと感謝いたしております。

進学を希望する生徒におきましては、28名の生徒が4年制大学や専門学校への進学を決めております。

進路指導の一環として、同窓生の方々に就職試験の面接を行つていただきました。模擬面接は、生徒にとって大変貴重な時間であり、応答練習のみでなく心構えなどの話は大変有意義な機会となりました。今年度も実施を計画しておりますので、是非お力を貸していただければ幸いです。

部活動においては、感染症対策を講じながら様々な大会が実施されました。運動部では、登山部が全国高校総合体育大会で8位、全国高校スポーツクラブ

ハンドボール部は中国選手権大会3位に入賞しました。弓道部は中国新人大会男子団体3位、国民体育大会において平谷太良君が本団体に出場し、2位入賞を果たしました。また、ソフトテニス部も団体と個人で、剣道部も個人で中国大会に出場するなど、多くの生徒が上位大会で活躍しました。野球部は、全国高校野球選手権大会山口大会でベスト4に入りました。

文化部では、ものづくりコンテスト「旋盤職種」

において渡辺慎也君が全国大会に出場し、敢闘賞を受賞しました。また、ものづくりコンテスト「溶接作業部門」でも3名が中国大会に出場し、田中秋鷹君が5位に入り、奨励賞を受賞しました。

学習面においては、チャレンジ目標として「ステップテスト平均点8割以上」を掲げています。技能検定・資格取得の向上に向けては朝、夕の補講を行うなど、指導の強化を図っています。生徒が積極的にチャレンジした結果、職業技術顕彰で36名、ジュニアマイスター顕彰でゴールド7名、シルバー20名、ブロンズ36名の生徒が認定されました。今年度も基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指すとともに一人一台端末等のICT機器を積極的に活用し、生徒の学習意欲向上と授業改善に努めて参ります。

昨年度、「多様性を認め合い、他者を尊重できる心豊かな生徒の育成」を目的とし、徳山総合支援学校と交流を図りました。残念ながらコロナの影響で、リモートでの吹奏楽部の演奏会のみとなりましたが、今年度はお互いの文化祭に参加するなど、さらに交流を深めたいと考えています。

ところで、下松工業高校と言えば「久原房之助翁」。着任して3日目に、私は、大田真一校長からある動画を見せていただきました。本校の情報処理部が制作、編集した動画で、その中に久原翁の偉業、功績がまとめられており、「下松工業高校」と「ものづくりのまち下松」の繋がりの深さを知りました。

また、5月13日の定時総会のとき、『下工は虹の架け橋』という演題で田中一成氏の講演がありました。「自らが気づき、判断し、行動する。これぞ下工精神」と話されておりました。この精神が諸先輩方の間で脈々と受け継がれ、本校の102年の歴史と伝統がつくられたことを強く感じました。

現在の下松工業高校が活気に満ち溢れた学校であるのは同窓生の方々のお陰です。このことに感謝します。今後ともこれまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

全日制教頭 松本 宣昭

定時制の記録

活躍・健闘光る!!



全国大会に出場した卓球部



柔道90kg以下の選手、村田海夜さん



発表中の原田琉衣さん



ボランティア活動の様子

定時制から

【定通体育大会の成績】

- 山口県定通体育大会 6月4日 於：維新大晃アリーナ・山口高校
 - ①軟式野球 クラーク記念国際高校参加辞退により第1位
 - ②卓 球 男子団体 1位
男子個人 2名2回戦敗退 女子個人 1名3回戦敗退
 - ③柔 道 90kg以下級 第1位 村田 海夜（4年）
- 全国大会西中国地区予選 6月19日 於：東広島運動公園野球場
 - ①軟式野球 第2位 本校 0-11 みらい創生高校（広島県）
- 全国高等学校定時制通信制体育大会
 - ①卓 球 7月26日～28日 於：駒沢オリンピック公園総合運動場体育館
男子団体 1回戦敗退 本校 0-5 翔洋学園高校（茨城県）
 - ②柔 道 8月7日 於：講道館
男子個人 新型コロナウイルス感染症の疑いにより棄権
- 山口県定通体育大会 10月15日 於：山口高校
 - ①軟式野球 第2位 本校 8-11 クラーク記念国際高校
 - ②卓 球 男子団体 2位
男子個人 2名2回戦敗退 女子個人戦、1名3回戦敗退
 - ③柔 道 90kg以下級 第1位 村田 海夜（4年）
 - ④学校対抗4×100mリレー 第4位 浅原 悠人（4年） 神城 新（4年） 畑岡 優輔（4年） 山中 俊（3年）

【資格取得】

- 技能検定機械加工普通旋盤作業2級 畑岡 優輔
- 機械製図検定 浅原 悠人 畑岡 優輔 弘中 涉
- 基礎製図検定 井野 鳩人 山中 俊
- 計算技術検定3級 井野 鳩人 鎌倉 瑞晟 貞久 凌大 村田 祐申 山中 俊
- 危険物乙種第6類 畑岡 優輔
- 玉掛け技能講習 浅原 悠人
- 情報技術検定3級 山中 俊 武居 健晶

【定時制通信制生活体験発表大会】

県内の定時制通信制高校の代表が、それぞれの意見や考えを発表する「定時制通信制生活体験発表大会」が10月に下関市で行われました。本校からは、4学年の原田琉衣さんが『いろいろな世界』というテーマで自分の考えを発表しました。

【ボランティア活動&マリンイカダレース】

ボランティア活動として、学校近辺の通学路の除草作業を行いました。また、マリンイカダレース大会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりました。

※「くだまつ笠戸島マリンイカダレース大会」は、今年度廃止が決定しました。

【進路状況】

今春の卒業生は6名。県内外の企業及び公務員に就職が決まりました。本校で培った知識と技能を生かし、今後大いに活躍してくれるものと期待しています。

県内	県外	公務員	自営	その他	卒業生
3名	1名	1名	0名	1名	6名

(R5.3.1現在)

【3学年と4学年が「チャレンジ目標達成！」】

令和4年度は、3学年と4学年が定時制のチャレンジ目標「クラス欠席0の日、100日」を達成しました。コロナ禍が続いている中、昼間・働き、夜・学ぶ。経験した人にしかわからない苦労があると思います。今年度は、全学年で達成しよう！下工定時制!! (R5.5.1現在)

【在校生の状況】

令和5年度の生徒数は、22名（男子22名）です。落ち着いた雰囲気で学習活動や部活動に取り組んでいます。資格取得に向けてチャレンジするなど、それぞれが自己の目標に向かって、順調に学校生活を送っています。

1年	2年	3年	4年	計
4名	9名	4名	5名	22名

定時制教頭 大塚 寛史

運営基金御礼

下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。この基金は引き続き募集いたしますので、
何卒、ご協力賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

						令和4年4月1日～令和5年3月31日								
卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額
日石O B支部	3000	M35 橋本暢公 1000	M45 浅原俊朗 1000	C30 岡部洋一 1000	C39 河村正浩 5000	E38 藤本健治 2000								
富士高圧フレキシブルホース支部	100000	M35 丸山和之 1000	M45 大段宏 1000	C30 長弘智之 2000	C40 井上則男 1000	E39 大木望 1000								
M14 山本尚布	1000	M35 村田雄司 1000	M45 藤井義雄 1000	C31 佐藤静江 1000	C40 酒井光正 1000	E41 岸村敬士 1000								
M17 三好修治	1000	M36 上田祐三 1000	M45 久胡龍三 1000	C31 清木元博 1000	C40 貝塚義博 1000	E41 田中一成 1000								
M20 大谷巖太郎	2000	M36 小野本進 1000	M45 藤井和良 1000	C31 河村敏雄 1000	C40 竹内公昭 1000	E41 三浦康明 2000								
M20 益田弘三郎	3000	M36 三原一彦 2000	M45 杉本勝美 1000	C31 松永正之 2000	C40 河野寿夫 1000	E42 林巧 1000								
M21 嶋田隆雄	1000	M36 吉岡正則 3000	M45 松原時雄 2000	C32 坂本嗣昭 1000	C40 宮本新二 2000	E42 笠井幾夫 1000								
M25 弘中辰男	1000	M37 山形捷児 1000	M46 難波美嗣 1000	C32 小林勝 1000	C40 小林孝二 2000	E42 原田寛文 1000								
M25 藤井敏之	2000	M37 田村光之進 1000	M46 森永弘 1000	C32 川村俊彦 1000	C40 中村道夫 5000	E43 川村満 1000								
M26 岩本郁二	1000	M37 久本徳夫 1000	M47 徳吉忠 1000	C32 山崎礼子 1000	C41 綱永俊彦 1000	E43 兼清博史 1000								
M27 林一成	1000	M37 濱崎康幸 1000	M47 村中一雄 2000	C33 藤井敦 1000	C41 安沢一夫 1000	E43 西方栄治 1000								
M28 河村徳男	1000	M37 福田忠義 2000	M48 相本信正 1000	C33 河口俊彦 1000	C41 小林誠 1000	E44 磯部典之 1000								
M28 原田道雄	1000	M37 広津正嗣 3000	M48 徳原英昭 1000	C33 高山佳昌 1000	C41 金山光康 2000	E44 戸倉敏幸 1000								
M28 内山忠雄	1000	M37 塩谷典生 5000	M48 中本信秀 1000	C33 萬徳晴男 1000	C41 金藤哲夫 3000	E45 吉野郁夫 1000								
M28 武居信幸	1000	M38 山本秀明 1000	M48 弘中賢一 1000	C33 小笠原長文 1000	C42 国居則次 1000	E45 弘中隆 1000								
M28 野田重延	2000	M38 山岡弘幸 1000	M48 中村久信 1000	C33 岩本宏 1000	C42 国弘成文 2000	E46 林恵二 1000								
M28 国重保之	2000	M38 浜中浩 1000	M49 空正男 1000	C33 難波伸次 2000	C43 山本清二 2000	E46 福本秀司 2000								
M28 小川莊六	3000	M38 石川公明 1000	M50 高岡敏 2000	C33 石川達絃 10000	C44 石田和久 1000	E46 松本敏勝 2000								
M29 水井貴士	1000	M38 池永文人 1000	M51 門川光宏 2000	C34 大田孝 1000	C44 池田義孝 1000	E46 河本滝美 5000								
M29 渡辺忠弘	1000	M38 宝島勝興 1000	M52 中村善義 1000	C34 山口正治 1000	C44 藤村秀行 1000	E47 松岡清治 1000								
M29 渡辺圭二	1000	M38 筒井征史 1000	M52 吉田浩治 1000	C34 奥村フサ子 1000	C44 柿並幹夫 1000	E47 清木高治 1000								
M29 松本正	3000	M38 横田晴雄 1000	M54 橋本茂樹 1000	C34 小林哲士 1000	C44 小田洋子 1000	E47 市川雅明 4000								
M29 足立元	5000	M38 弘中勝利 1000	M54 矢野茂興 1000	C34 藤田圭子 1000	C44 山部義弘 1000	E47 松村和明 9000								
M30 小林信之	1000	M38 北中武徳 2000	M54 磯村活利 1000	C34 清木崇 1000	C44 藤井孝造 3000	E48 松野文則 1000								
M30 二町健二	1000	M39 中原康 1000	M54 中村明夫 2000	C34 松本勇 2000	C45 秋元郁夫 1000	E49 佐々木實 1000								
M30 宮崎一雄	1000	M39 杉原公 1000	M56 河嶋善樹 1000	C34 林光恵 2000	C45 反田快舟 1000	E49 沼田明文 1000								
M30 小林克巳	1000	M39 道源勝人 1000	M56 久野茂雄 2000	C35 藤井晴雄 1000	C45 浅本修治 1000	E49 片野洋志 1000								
M30 原田明	1000	M40 末廣栄治 1000	M57 山近和浩 1000	C35 内山正行 1000	C45 深町嘉晴 1000	E49 橋本裕幸 1000								
M30 中原俊彦	1000	M40 久富鐵夫 1000	M58 松森泰洋 1000	C35 岡本正輔 1000	C45 田村美知政 3000	E49 重永裕祥 1000								
M31 棚田貴	1000	M40 芳岡恒雄 1000	M58 小松英二 1000	C35 宇智田俊一郎 1000	C45 清水和夫 6000	E49 浅谷吉人 1000								
M31 相本啓次	1000	M40 山本勝一 2000	M59 棟居伸広 1000	C35 国沢洋二 1000	C46 水津辰治 1000	E50 平尾潔 1000								
M31 高山興昇	1000	M40 時繁浩治 3000	M60 和泉英征 1000	C35 岡登志美 2000	C46 藤井末男 1000	E50 高松裕一郎 1000								
M32 村井康訓	1000	M41 船本秀幸 1000	M60 岩畠宗保 1000	C36 山縣峻 1000	C46 小林範彦 1000	E52 永井一弘 1000								
M32 岡本正啓	1000	M41 和田栄治 1000	M63 辻真登 1000	C36 宮田治美 1000	C46 久野隆弘 2000	E54 市川満生 2000								
M32 青木健	1000	M41 山本金生 1000	MH1 宇野浩二 1000	C36 吉谷勝美 1000	C46 石原伸也 4000	E56 菅野政志 1000								
M32 鶴田守	2000	M41 守田達夫 1000	MH6 野崎直治 1000	C36 守田隆司 1000	C47 弘中典男 1000	E56 石津茂樹 1000								
M32 堀田知邦	2000	M41 金子信良 1000	MH10 河元康太郎 1000	C36 濱谷和昌 1000	C47 橋本敏美 1000	E57 中道章 1000								
M32 林通生	5000	M41 白井春好 2000	MH20 森野裕太 1000	C36 中野末郎 1000	C47 杉本郁夫 1000	EH1 恵本修二 2000								
M33 久芳龍男	1000	M42 福田朗 1000	MH21 河添幸次 2000	C36 清木義晴 1000	C48 河口隆司 1000	EH2 上良功司 1000								
M33 広戸一見	2000	M42 友員純生 1000	MH4 明栄宜興 1000	C36 復光眞 1000	C48 岡田忠実 1000	EH3 福田稔 1000								
M33 佐々木正	2000	M42 重村満男 1000	MH8 河元伸太郎 1000	C36 三保卓也 1000	C48 伊内耕治 1000	EH4 櫻井慎二 1000								
M33 吉村昌三郎	2000	M42 内田一夫 1000	MR4 原田佳翼 1000	C36 小川光弘 1000	C49 清水孝志 1000	IH25 井上耕三 1000								
M33 長迫博	5000	M42 土谷康夫 1000	C19 福田満治 1000	C36 山根晃憲 2000	C49 佃美伸 1000	IH25 岩中翔太 2000								
M34 久保田浩文	1000	M42 井上元洋 1000	C20 村田芳夫 1000	C37 藤井正人 1000	C49 井川明美 2000	IH30 高橋千花 1000								
M34 松田正己	1000	M42 田村孝芳 1000	C21 林茂夫 1000	C37 杉本勝行 1000	C50 平尾礼子 1000	SH30 松本尋典 1000								
M34 廣永龍男	1000	M42 福島操 1000	C26 藤谷智志 1000	C37 神田英昭 1000	C51 藤田卓哉 1000	SR3 三原謙一 1000								
M34 林亨	1000	M42 岡野保雄 1000	C27 松村寅彦 1000	C37 中村忠士 9000	C51 板村州展 1000	T42 伊村涉 2000								
M34 池本幸一	1000	M42 長田勝一 1000	C27 大木正徳 2000	C38 村岡教治 1000	C51 田坂任 1000	T43 杉村幸正 1000								
M34 國廣隆紀	1000	M42 沖原俊春 1000	C27 友森正信 2000	C38 青木睦裕 1000	C52 原田光久 1000	T43 渡辺孝之 5000								
M34 八木武男	2000	M42 上野安志 1000	C28 田丸久 1000	C38 岡野三治 1000	C60 秋本昌彦 1000	T46 三戸七郎 1000								
M34 伊川敏彦	2000	M42 柳原正典 2000	C28 金子剛男 3000	C38 久保征一郎 1000	CH13 河野公彦 1000	T48 嶋員久 2000								
M34 西村清	4000	M42 松本正次郎 2000	C29 清水博晴 1000	C39 宝迫和美 1000	CH6 片桐正博 1000	T49 渡辺義隆 1000								
M35 中本和彦	1000	M42 有永房夫 2000	C29 原田正夫 1000	C39 大田六郎 1000	CR4 山中大地 1000	P47 前国幸 1000								
M35 波多野智	1000	M43 長久利之 1000	C29 大谷尚人 1000	C39 大浦義明 1000	E38 伊藤雄三 1000	P50 広石隆司 1000								
M35 原田文利	1000	M43 中原道雄 2000	C29 松村立男 1000	C39 山本邦雄 1000	E38 田中昭夫 1000									
M35 三秋寿見郎	1000	M43 松村伸 3000	C29 岩本利彦 1000	C39 岡田隆夫 1000	E38 田中英征 1000									
M35 藤川悟義	1000	M44 山根岩夫 1000	C29 笠木文計 1000	C39 小田充 1000	E38 横山正夫 1000									
M35 原秀顯	1000	M44 惣田勇 1000	C29 河村正弘 1000	C39 笠木正明 2000	E38 石川勝行 1000									
M35 海野征夫	1000	M44 高橋斗志雄 2000	C29 有吉安治 2000	C39 藤本光 4000	E38 小沢学 2000									

100周年寄付御礼

下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。

令和4年4月1日～令和5年3月31日

卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額	卒年	氏名	寄附額
M48	中本信秀	3120	C38	青木睦裕	2000	E49	重永裕祥	30000

謹んでご冥福をお祈りいたします

一般社団法人 下松工業会

(令和4年4月1日～令和5年3月31日 事務局に連絡があった方のみ)

正会員物故者

卒年	氏名	住所	卒年	氏名	住所	卒年	氏名	住所
M14	相本 一治	下松市	M30	河添 逸夫	下松市	C22	武居 隆一	下松市
M18	片山 英男	周南市	M31	白井 克明	下松市	C23	岩本 敏規	下松市
M19	藤井 誠一	周南市	M31	塙崎 紀正	下松市	C23	山本 正男	山口市
M19	山本 威彦	周南市	M32	和田吉三郎	下松市	C27	山本 秋義	下松市
M19	吉木 生	平生町	M33	河口 敬孝	周南市	C28	築山 昌史	下松市
M20	下村 正行	杉並区	M35	田村圭史郎	防府市	C28	佐藤 勝	周南市
M20	原 照雄	多摩市	M35	網本 正之	下松市	C29	石村 進	さいたま市
M20	田嶋 達也	防府市	M35	原野 達夫	松原市	C29	矢野 公春	摂津市
M20	野村 武	周南市	M36	山田 松幸	周防大島町	C30	佐藤 義明	横須賀市
M20	青木 昭	周南市	M37	林 純司	下松市	C32	原田 幸彦	下松市
M22	左海 孝之	下松市	M37	田中 新一	田布施町	C32	石田 英雄	枚方市
M23	藤原 肇	周南市	M40	清木 幹生	山口市	C35	久保 正己	下松市
M23	植杉 清	周南市	M41	江本 秀昭	光市	C36	時弘 孝彦	鳩山町
M23	河野 知敏	下松市	M43	村上 菊雄	下松市	C37	山本 成男	田布施町
M24	坂根 茂	宇部市	M44	棟末 保男	周南市	C38	清木 利彦	下松市
M25	長峯 芳夫	周南市	M45	鴨井 政博	下松市	C41	松永 賢正	坂祝町
M25	藤井 正	周南市	M49	松村 嘉浩	光市	C41	用伝 正之	柳井市
M25	正本 義幸	光市	M55	永松 昭二	下松市	C42	鈴木 厚馬	泉大津市
M25	沖本 洋始	下松市	C19	伊藤 進	山陽小野田市	E41	保田 修三	平生町
M26	東原 忠行	川崎市	C19	竹中 誠	玖珂町	E42	木村 敏明	岩国市
M26	高原 良夫	山口市	C19	矢田部 稔	神戸市	E45	玉野 敏数	周南市
M26	片山 保則	周南市	C20	重田 正一	光市	E55	小田 巧二	下松市
M27	小田 勇美	下松市	C20	吉廣 孝一	田布施町	T49	多田 孝義	下松市
M27	中村 幸男	下松市	C20	山本 保	田布施町	P56	岩迫 和司	光市
M29	池田 義美	下松市	C20	藤本 幸夫	光市			



地域環境保全功労者表彰(環境大臣賞)

黒田 義則 M34

令和5年度支部長就任

日立笠戸支部

MH3 國本 淳一



編集後記

新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと同じ位置づけとなったことで、先が見通せない日常生活に一筋の光明となりました。

街ゆく人たちにコロナ以前の活気が戻ってきたように感じるのは私だけだろうか。

4年間に亘り活動に制約を強いられていましたが、企業支部、地域支部におかれでは同窓会活動を再開し、同窓の絆をさらに高めていただきたいと思います。

広報HP委員会

事務局からのお知らせ

七彩会ボウリング大会

日 時 令和5年8月8日(火) 18:30～
会 場 下松ボウリングセンター
会 費 1,500円 (シューズ代自己負担)

第32回七彩会ゴルフ大会

日 時 令和5年10月11日(水)
会 場 中須ゴルフ俱楽部
ス タート アウト・イン 8時33分 (20組)
参 加 費 3,000円
競 技 方 法 ダブルペリア方式

令和6年度定時総会

日 時 令和6年5月11日(土) 10:00～
と こ ろ 下松市大字西豊井1247番地
会 場 下松駅南市民交流センター
きらぼし館

100周年記念誌販売

3,000円/冊(送料別)

100周年記念写真集「友愛正義」を販売中です。

※各行事への参加・購入ご希望の方は工業会事務局まで連絡下さい。

勧誘・振込詐欺にご注意

母校・同窓会など名を借りた振込詐欺・新聞広告や資格取得の勧誘或いは名簿作成・と言って、母校・同窓会以外の不詳団体から郵便、電話があると聞いております。電話並びに、母校又は同窓会の署名(校長名又は会長名)のないものは一切受け付けないで下さい。

QRコードからの
当会ホームページへ
URL: <http://www.kudakokai.org>



おわびと訂正

会報53号で支部長名に間違いがありましたので

訂正します。

正しくは

日鉄ステンレス光支部 岡田 貴義

謹んでおわび申し上げます。